

誰ひとり取り残さない支えあいの地域づくり事業(山形県川西町吉島地区)

R4.11時点

【事業背景】

- 高齢化等による移動支援対象者の増加や支援する人材の不足などが課題。
- デジタル化による住民同士の相互補完環境の整備をめざす。

【事業実施主体】

きらりよじまネットワーク

【R3交付金活用額】11,085千円

【取組内容】

【令和3年度に実施した主な事業】

- 買い物支援など既存の6つのコンテンツをプラットフォーム化(きらりよろずねっと)とともに支え合い人材研修会を実施。
- 電動シニアカー3台を無料貸し出し、地域住民の移動支援を試験的に実施。
- 災害対応の備品を整備するとともに、地域づくりにつながるワークショップを開催。

(きらりよろずねっと)



(シニアカーで外出や買い物移動)



(ワークショップの様子)



【成果(令和3年度)】

- プラットフォーム化したことにより、住民がどの端末からでもアクセスが可能となり利便性が向上した。
- 一つのコンテンツでは、慶應義塾大学の看護医療学部の学生が関わり、専門的知見による健康情報が学生からのアプローチで楽しく個性あるものとして定期的に発信されており、より興味が持てるものに改善された。
- マッチング人材育成の研修会を児童、自治会長、ボランティアを対象にそれぞれ行い、互助、共助意識の醸成につながった。
- 外出やちょっとした移動に電動シニアカーを活用でき、移動に支障をきたしている住民の助けとなった。
- 1泊2日で総勢24名がワークショップに参加し、実際に事業提案が出るなど地元住民の意識向上につながった。

【令和4年度実施予定の取組】

- ICTを活用して都市部の学生等の若者と地域の若者によるワーキングチーム30名で農都交流などのイベントを実施。
- コミュニティスクールと連携しICTを活用したこどもの学びのコンテンツ(地域の歴史、暮らし、産業)を制作。
- 女性向けの農村での暮らし方・働き方の研修を実施。

誰ひとり取り残さない支えあいの地域づくり事業(山形県川西町吉島地区)

R4.11時点

【実施体制】R3年度

(R4年度も変更なし。)

運営主体(特活) きらりよしじまネットワーク

自治部会(自治会長会・防犯協会・自主防災)

環境衛生部会(衛生分会・衛生女性班長会)

福祉部会(地区社協・ボラ会・老ク)

教育部会(自治公・センター・専門部・SC)

協働

川西町役場
まちづくり課

連携

学校運営協議会
PTA
JA青年部
JA女性部

連携

連携企業
連携大学